

＜小学校社会部会＞

研究主題

社会的事象の意味を主体的に考え、公正に判断する力を育てる社会科の学習指導
— 個に応じた発展的な学習と補充的な学習の研究開発を通して —

研究の概要

児童一人一人に対して、社会的事象の意味を主体的に考え、公正に判断する力を育てるための個に応じた発展的な学習と補充的な学習の指導の在り方について研究開発を行った。その結果、特に、個に応じた発展的な学習についての「指導モデル」を開発し、実践によってその効果を検証することができた。

I 研究の目的

社会科の究極的な目標である「公民的資質の基礎」を養うためには、児童一人一人が、社会的事象の意味や特色、働きについて主体的に考え、公正に判断する力を確実に身に付けていくことが重要である。

本研究では、このような社会科の特質を踏まえ、個に応じた発展的な学習と補充的な学習を、「社会的事象の意味を主体的に考え、公正に判断する力」を育てるための学習として位置付け、特に、個に応じた発展的な学習の指導の在り方を中心にして研究開発を行う。

II 研究の方法

- 1 「社会的事象の意味を主体的に考え、公正に判断する力」を育てるための個に応じた発展的な学習と補充的な学習の指導の在り方を明らかにするとともに、特に、個に応じた発展的な学習についての「指導モデル」の開発を行う。
- 2 検証授業を行い、児童の反応をもとに個に応じた発展的な学習と補充的な学習の指導の有効性について考察する。

III 研究の内容

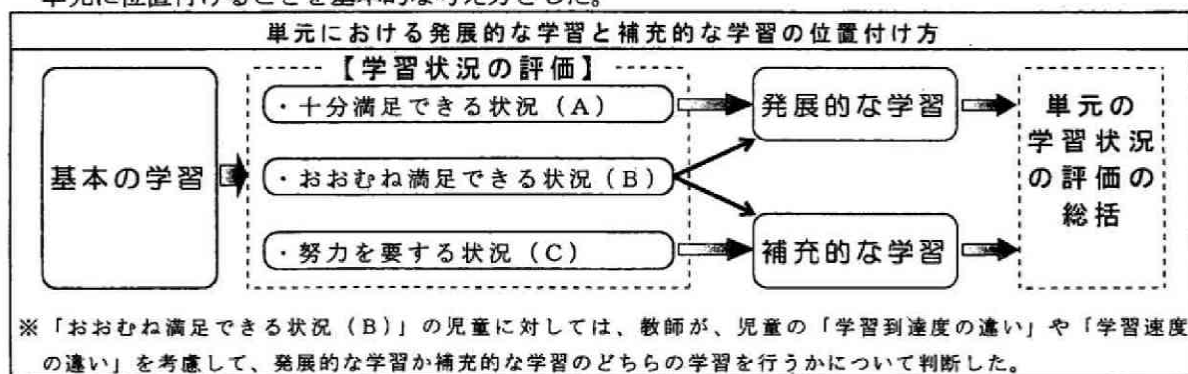
- 1 社会科の特質を踏まえた、個に応じた発展的な学習と補充的な学習の指導の在り方

(1) 基本の学習と個に応じた発展的な学習、補充的な学習のとらえ方

基本の学習	○学習指導要領に示す内容やその取扱いに基づき、単元の基礎・基本を身に付ける学習
発展的な学習	○単元における基本の学習の評価規準に照らして、「十分満足できる状況(A)」の児童に対して、より一層、社会的事象の意味や特色、働きを主体的に考える力を高めるために、学習指導要領に示す内容をより深める学習や、さらに進んだ内容を扱う学習
補充的な学習	○単元における基本の学習の評価規準に照らして、「おおむね満足できる状況(B)」に至らない児童に対して、社会的事象の意味や特色、働きを主体的に考える上で必要な「具体的なことがら(事実)」を確実に理解するための学習

(2) 個に応じた発展的な学習と補充的な学習の単元における位置付け方

発展的な学習と補充的な学習は、一斉にすべての児童に取り組ませる学習ではなく、「学習到達度の違い」や「学習速度の違い」といった個人差を考慮して行われるものであるととらえた。そのため、特に、発展的な学習については、①学習指導要領に示す基礎的・基本的な内容の確実な定着を図った上で行うこと、さらに、②学習速度も速く、限られた時間の中でも十分に取り組む力がある場合に行うことをその要件として、次のように単元に位置付けることを基本的な考え方とした。



IV 指導事例

事例 1

転移・応用させる発展的な学習〈生かす発展〉と繰り返し調べる補充的な学習を取り入れた事例
— 第3学年 単元名「わたしたちのまちのお店で働く人」(13時間) —

1 単元の見目標

地域の販売に見られる仕事の特色について関心をもって意欲的に調べ、販売の工夫や自分たちの生活とのかかわりについて考えるとともに、それらの仕事は、原料の入手などの面で他の地域と深く結び付いていることを理解する。

2 単元の観点別評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
○地域の販売の仕事や、その仕事に携わる人の様子に関心をもち、意欲的に見学したり調べたりしようとする。	○販売の仕事に携わる人は、消費者の願いに対応しながら工夫したり、自分たちの生活を多くの面で支えたりしていることについて考える。	○販売の仕事に携わる人の様子について、追究の視点に沿って調べる。 ○見学等で調べた内容を発表したり、ワークシートに整理したりして分かりやすく表現する。	○販売の仕事には特色があり、消費者の願いに対応するために様々な工夫をしていることや、他の地域と結び付いていること、自分たちの消費生活が支えられていることを理解する。

3 単元の基本の学習と発展的な学習、補充的な学習の展開の概要

基本の学習(9時間)

①学区にあるE豆腐店の販売の様子に着目して学習問題を設定する。(3時間)

学習問題: E豆腐店は、おいしい豆腐を食べたいお客さんのために、どのようにして売っているのだろう。

②E豆腐店の追究の視点を明確にして、学習計画を立てる。(1時間)

ア 豆腐をどのような材料で、どのようにつくっているのか。(材料の精選)
イ おいしい豆腐をおいしいままに売る工夫は何か。(鮮度の維持)
ウ おいしく見せる並べ方の工夫は何か。(陳列の工夫)
エ たくさん売するための工夫は何か。(売り方の工夫)
オ 気を付けていることは何か。(衛生管理)

③E豆腐店を見学したり、ビデオ資料を活用したりしながら調べる。(2時間)

④調べたことを発表し合い、販売の工夫について整理し、働く人の思いを考える。(1時間)

⑤E豆腐店のHさんの話を聞き、働く人の工夫や努力について考える(1時間)

⑥E豆腐店のCMづくりをして、これまでの学習のまとめをする。(1時間)

評価1: 基本の学習における観点別学習状況の評価の総括を実施する。

◆「十分満足できる状況(A)」「おおむね満足できる状況(B)」「努力を要する状況(C)」と判断する際に重視する評価の視点
A: E豆腐店のCMで、消費者の願いに応じた販売の工夫ということが概念化できている。(発展的な学習へ)
B: E豆腐店の販売の様子について追究の視点に沿って調べることができているが、概念化は不十分である。
(発展的な学習、または、補充的な学習へ)
C: E豆腐店の販売の様子について調べていない追究の視点があったり、調べた内容が不十分であったりする。
(補充的な学習へ)

発展的な学習(4時間)

概要: Cコンビニエンスストアの販売の工夫について調査活動を行う。

①Cコンビニを調べるための学習問題を設定し、追究の視点を明確にする。(1時間)

学習問題: Cコンビニエンスストアでは、どのような工夫をして売っているのだろう。

②Cコンビニを見学して調べる。(1時間)

③調べたことを整理して、CコンビニのCMづくりをする。(1時間)

④地域の店の自慢キャッチフレーズをつくる。(1時間)

評価2: 発展的な学習と補充的な学習における観点別学習状況の評価を加味して、単元の評価の総括を実施する。

補充的な学習(4時間)

概要: 基本の学習において設定した追究の視点に基づいて、再度、E豆腐店の調査活動を行う。

①基本の学習におけるE豆腐店の見学・調査で不十分だった追究の視点を明確にする。(1時間)

活動目標: 基本の学習のア～オの追究の視点について不十分なものを調べよう。

②E豆腐店の見学・調査や豆腐づくり体験を行う。(1時間)

③再度、E豆腐店のCMづくりをする。(1時間)

④E豆腐店の自慢キャッチフレーズをつくる。(1時間)

4 発展的な学習と補充的な学習における児童の反応と評価の実際

(1) 発展的な学習におけるA児の学び

<p>基本の学習 <9時間目> ◆まどめの作品づくり (E豆腐店のCM) わたし(豆腐店の主人)は、おいしいものを食べたい人のために工夫をしています。お客さんが買うまで冷たい水で豆腐を冷やしています。大豆もにがりもいいものを使っています。とても味には自信があります。そして、お客さんが見やすいように、店の前にもどきや油揚げを並べています。きれいな手で作っているの、お腹をこわすこともありません。ぜひ、一個でも買ってください。</p>	<p>評価1 ■作品分析 (知識・理解) <—の部分> ○見学の視点に沿って具体的に販売の工夫の様子をとらえている。(思考・判断) <＝の部分> ○消費者の願いに応じた販売の工夫ということが概念化できている。 ★基本の学習の評価の総括 ○観点別学習状況の評価において「十分満足できる状況」であり、消費者の願いに応じた販売の工夫について概念化できているため、発展的な学習に進むことが有効であると判断した。</p>	<p>発展的な学習 <4時間目> ◆まどめの作品(CコンビニのCM) うち(コンビニの主人)では、<u>お客さんのためにいろいろな工夫をしています。(中略)それにアイスなどは冷たいところ、肉まんなどは温まる場所</u>に<u>おいているので、おいしいまま買ってもらうことができます。(後略)</u> ◆地域の店の自慢キャッチフレーズ どんなお客さんにもさいてきなわたしのまちのお店 理由：<u>わたしのまちのお店は、お客さんのためにいろいろな工夫をしています。</u>例えば、物の置き方や並べ方、サービスの仕方、施設の工夫、そして、お客さんをとってもよい気分させる工夫をしていました。 ◆単元の学習後の感想 もっと、まちのお店を見学したい。どのお店もお客さんのことを考えて工夫している。</p>	<p>評価2 ■作品分析 (知識・理解) <—の部分> ○基本の学習におけるE豆腐店の追究の視点を生かして、Cコンビニエンスストアの消費者の願いに応じた販売の工夫について具体的にとらえている。(思考・判断) <＝の部分> ○Cコンビニエンスストア以外の地域の店を自分で調べ、地域の店が消費者の願いに応じた販売の工夫をしていることをとらえ、基本の学習で学んだことを転移・応用させて、概念化できている。 ★単元の評価の総括 ○発展的な学習をしたことで、他の店にも興味・関心が広がっていることがうかがえる。(学習感想から)</p>
---	---	---	--

発展的な学習での教師の働きかけ

- ・Cコンビニエンスストアの店舗の写真を見せて、店の概要を想起させる。
- ・Cコンビニエンスストアの追究の視点を考えさせる際に、E豆腐店での学習を振り返らせる。

(2) 補充的な学習におけるB児の学び

<p>基本の学習 <9時間目> ◆まどめの作品づくり (E豆腐店のCM) わたしの店には、この前、子どもたちが見学に来ました。私が豆腐をプレゼントしたら「おいしかったです。」と電話をくれました。こんなおいしい豆腐を食べてみませんか。</p>	<p>評価1 ■作品分析 (思考・判断) ○まどめの作品には、情意面だけが表れていて、具体的な販売の工夫にはふれていない。 ■ワークシート分析 (技能・表現) ○基本の学習で設定した追究の視点を十分に調べられていない。 ★基本の学習の評価の総括 ○この時間までの評価については、「努力を要する状況」であるため、補充的な学習に進むことが有効であると判断した。</p>	<p>補充的な学習 <4時間目> ◆まどめの作品づくり (2回目の見学・調査を終えてつくったE豆腐店のCM) うちはね、日本産の大豆を使っています。<u>冷蔵庫に入れてお客さんが来るまで冷やしています。</u>雨の日でも、品物がよく見えるようにライトもつけています。ポスターもはっています。みんなが買いに来るのを待っています。</p>	<p>評価2 ■作品分析 (知識・理解) <—の部分> ○E豆腐店の売りのための工夫について、具体的にとらえて記述することができる。(思考・判断) <＝の部分> ○「お客さんが来るまで」と記述しており、販売の工夫をお客さんとのつながりで考えるようになっていた。 ★単元の評価の総括 ○売る仕事の工夫を具体的にとらえることができたので、「おむね満足できる状況」と判断した。</p>
---	--	---	---

補充的な学習での教師の働きかけ

- ・児童と個別に面談をし、十分に調べることができていない追究の視点を明確にして伝える。その際、E豆腐店の販売の工夫を整理した資料を提示して、追究すべき内容を具体的に知らせる。
- ・E豆腐店の豆腐づくりを体験させ、実感をもって理解できるようにする。
- ・見学の際には、同じ追究の視点を調べる児童をグループにして、目的意識を高めるようにする。

事例 2

追究する視点を広げる発展的な学習<広げる発展>と繰り返し調べる補充的な学習を取り入れた事例
— 第3学年 単元名「わたしたちのまちの工場で働く人」(14時間) —

1 単元の目標

地域にある工場を調べ、地域の生産活動の様子や働く人の工夫や努力に気付くとともに、それらの仕事は原料の入手や製品の販売・輸送などの面で他地域と深く結び付いていることや、製品がわたしたちの生活に役立っていることを理解する。

2 単元の観点別評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
○工場の仕事や製品に関心をもち、製品の生産の様子や材料の入手、販売の方法などの工夫について意欲的に調べようとする。	○工場の仕事の様子について見通しをもって追究し、工場の仕事の特色や働く人の工夫や努力を考える。	○工場の仕事の特色や製品と他地域とのかかわりについて見学したり調べたりして、調べた過程や結果を分かりやすく表現する。	○工場の仕事の特色や働く人の工夫や努力を理解する。 ○製品が自分たちの生活に役立っていることを理解する。

3 単元の基本の学習と発展的な学習、補充的な学習の展開の概要

基本の学習 (9時間)

①② T電機工場の部品を見て、生産の様子に着目して学習問題を設定する。(2時間)

学習問題:わたしたちのまちにあるT電機工場では、どのようにして部品をつくらせているのだろう。

③部品を見て、T電機工場の追究の視点をつくる。(1時間)

ア 材料は、どこから来るのか。(他地域とのつながり) エ 働く人はどのような工夫や努力をしているのか。(工夫や努力)
イ つくられた部品はどこへ行くのか。(他地域とのつながり) オ つくられた部品や製品は、私たちの生活にどのように役立っているのか。(生活とのかかわり)
ウ どのようにしてつくられているのか。(生産の工程)

④⑤ T電機工場を見学したり、資料を活用したりしながら調べる。(2時間)

⑥材料の入手先や部品の出荷先について調べる。(1時間)

⑦T電機工場の部品づくりの疑似体験をし、働く人の工夫や努力を予想する。(1時間)

⑧T電機工場のMさんの話を聞き、働く人の工夫や努力について考える。(1時間)

⑨T電機工場のキャッチフレーズをつくり、これまでの学習のまとめをする。(1時間)

評価1:基本の学習における観点別学習状況の評価の総括を実施する。

◆「十分満足できる状況(A)」「おおむね満足できる状況(B)」「努力を要する状況(C)」と判断する際に重視する評価の視点

A:調査は終了し、キャッチフレーズやその理由において、社会的事象を多面的にとらえ、概念化できている。(発展的な学習へ)

B:調査は終了しているが、キャッチフレーズの理由において、品質に関連した生産の工夫についての記述が不十分である。

(補充的な学習へ)

C:生産の様子について調べていない追究の視点があったり、調べた内容が不十分であったりする。(補充的な学習へ)

発展的な学習 (5時間)

概要:T電機工場働く人の仕事の特色を、多くの事象から考えるために、新たな追究の視点をつくり調査活動を行う。

①T電機工場働く人の仕事について、VTRや写真資料を見て、新たな追究の視点をつくり、学習計画を立てる。(1時間)

カ 工場が馬込に移転した理由(立地条件)
キ 住宅地の環境を配慮した生産(生産の工夫)
ク 金型の試作・保管(販売の工夫)

②T電機工場を見学して調べる。(1時間)

③調べたことを整理し、工場の自慢キャッチフレーズをつくる。(1時間)

④作成した2つの工場の自慢キャッチフレーズを見比べて学習感想を書く。(1時間)

⑤報告会で工場の自慢キャッチフレーズを発表し合う。(1時間)

補充的な学習 (5時間)

概要:基本の学習において設定した追究の視点に基づいて、再度、T電機工場の調査活動を行う。

①T電機工場の見学・調査で不十分な点を、教師が児童にシールで知らせる追究の視点を明確にし、学習計画を立てる。(1時間)

活動目標:基本の学習のア～オの追究の視点について不十分なものを調べよう。
(キャッチフレーズを再度つくることを教える。)

②T電機工場を見学して調べる。(1時間)

③調べたことを整理して、工場の自慢キャッチフレーズをつくる。(1時間)

④作成した2つの工場の自慢キャッチフレーズを見比べて学習感想を書く。(1時間)

⑤報告会で工場の自慢キャッチフレーズを発表し合う。(1時間)

評価2:発展的な学習と補充的な学習における観点別学習状況の評価を加味して、単元の評価の総括を実施する。

4 発展的な学習と補充的な学習における児童の反応と評価の実際

(1) 発展的な学習におけるA児の学び

<p>基本の学習</p> <p><9時間目></p> <p>◆まよめの作品づくり (工場の自慢キャッチフレーズ)</p> <p>みんなを思って 生み出す商品</p> <p>◆キャッチフレーズをつけた理由 部品にあったいいアルミニウムを選び、金型をつくり、100 kgの金型を使い、圧力をかけて穴をみごとにあけている。修業をたくさんしているのは、みんなが幸せにくらせるためだと思う。 工場にあった金型を使っている。正しい部品をたくさんつくらなければいけないから、同じ形の部品をたくさんつくれる金型があると便利である。</p>	<p>評価1</p> <p>■作品分析 (思考・判断)</p> <p><一の部分></p> <p>○材料へのこだわり、部品の製作にあった道具づくり等、生産の特色をとらえている。</p> <p><二の部分></p> <p>○品質のよい製品を大量生産するための、工場の仕事の工夫ということが概念化できている。</p> <p>★基本の学習の評価の総括</p> <p>○品質のよい製品を大量生産するための工場の仕事の工夫ということを概念化できているため、発展的な学習に進むことが有効であると判断した。</p>	<p>発展的な学習</p> <p><5時間目></p> <p>◆まよめの作品づくり (工場の自慢キャッチフレーズ)</p> <p>みんなを思って生み出す商品、金型の多さは、もしものため</p> <p>◆キャッチフレーズをつけた理由 (略)金型をたくさんつくっているのは、いろいろな部品をつくるためもあるけれど、前の部品をもっとつくってほしいという急な注文のときに、前の金型があると、すぐにつくれるから。</p> <p>◆学習感想(一部)</p> <p>工場では、正しい部品をたくさん作るだけでなく、もしも部品の注文があったときにすぐにつくれるように、金型をとっておくようにしていることが分かった。</p>	<p>評価2</p> <p>■作品分析 (思考・判断)</p> <p><三の部分></p> <p>○金型が工場にたくさんあることの原因を追究することにより、工場が関連工場からの部品の注文に応じてつくっていることをとらえることができています。</p> <p>★単元の評価の総括</p> <p>○発展的な学習において、「関連工場の注文に応じた生産」という新たな追究の視点を加えて追究したことで、工場働く人の工夫を「品質のよい製品づくり」と「受注生産」という視点から多面的にとらえることができた。 (学習感想から)</p>
--	---	---	---

発展的な学習での教師の働きかけ

・追究の視点を広げるために、新たな資料を提示して問題意識を喚起する。

追究する社会的事象	新たな視点	資料
○工場が目黒区から大田区に移転したわけ	工場移転の理由	昔の馬込の畑の写真
○工場の音は、外には聞こえないわけ	環境を配慮した生産	工場内側と外側の音
○工場内にたくさんの金型があるわけ	関連工場の注文に応じた生産	多くの種類の金型の写真

(2) 補充的な学習におけるB児の学び

<p>基本の学習</p> <p>・5つの追究の視点についての見学・調査を終了していないが、工場の自慢キャッチフレーズをつくる。</p> <p><9時間目></p> <p>◆まよめの作品づくり (工場の自慢キャッチフレーズ)</p> <p>いろいろMさん</p> <p>◆キャッチフレーズをつけた理由 Mさんは、いろいろな機械を使うから、「いろいろMさん」にした。例えば、使っている機械は、プレス、金型などだった。</p>	<p>評価1</p> <p>■作品分析 (思考・判断)</p> <p>○キャッチフレーズの理由に、生産の工夫や働く人の様子についての記述がされていない。</p> <p>★基本の学習の評価の総括</p> <p>○基本の学習の5つの追究の視点について、追究内容に不十分なところがあるため、「努力を要する状況」であることとらえ、補充的な学習に進むことが有効であると判断した。</p>	<p>補充的な学習</p> <p>・基本の学習と同じ追究の視点で、2回目の見学・調査を行った後、工場の自慢キャッチフレーズをつくる。</p> <p>◆まよめの作品づくり<5時間目> (工場の自慢キャッチフレーズ)</p> <p>見直し大変、Mさん</p> <p>◆キャッチフレーズをつけた理由 金型をつくり、プレス機にはめて部品をつくる。見直しを繰り返して、きちんとした部品をつくっている。</p> <p>◆学習感想(一部)</p> <p>部品を見たときは、何をつくっている工場か分からなかったけれど、見学に行って電光掲示板の枠をつくっていることが分かった。学校の近くにある環状七号線にも電光掲示板があった。</p>	<p>評価2</p> <p>■作品分析 (思考・判断)</p> <p>○働く人が品質のよい製品をつくるために工夫や努力をしていることをとらえることができています。</p> <p>★単元の評価の総括</p> <p>○生活の中での製品の存在を意識するとともに、仕事の工夫をとらえることができたので、「おおむね満足できる状況」と判断した。</p>
---	---	---	---

補充的な学習での教師の働きかけ

・基本の学習の5つの追究の視点の中で、未解決の追究の視点にシールを貼り、解決のために使う文章資料として「町工場新聞・No.1」と「町工場新聞・号外」を発行(前回の内容を分かりやすくし、ひらがなを多めに使用)し、児童の主体的な学習が行われるようにした。
・「調べたことを次時の見学で、教師と一緒に確かめよう!」と工場見学のめあてを明確にした。

事例3

知識を増やし、関連性を考える発展的な学習<つなげる発展>と追究する内容を充実する
 補充的な学習を取り入れた事例 — 第6学年 単元名「世界に歩み出した日本」(10時間) —

1 単元の目標

立憲政治の確立、日清・日露戦争、産業の発展、条約改正、科学の発展などについて興味・関心をもち、年表や絵、文章、統計などの資料を効果的に活用して調べることにより、我が国の近代化に貢献した人々の業績と我が国の国際的地位の向上とを関連付けて考え、国力が充実したことを理解する。

2 単元の観点別評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
○我が国が外国に認められた歴史的事象や人物の業績に関心をもち、意欲的に調べようとしている。	○我が国の国力が充実し、国際的地位が向上していった様子を、歴史的事象や人物の業績と関連付けて考える。	○資料を活用し、我が国が外国に認められたことにかかわる歴史的事象や人物の業績について調べ、分かりやすくまとめる。	○立憲政治の確立、日清・日露戦争の勝利、外交の努力、科学の発展などを通して、我が国の国力が充実し、国際的地位が向上したことを理解する。

3 単元の基本の学習と発展的な学習、補充的な学習の展開の概要

基本の学習 (9時間)
①ノルマントン号事件の風刺画から不平等条約を知り、学習問題を設定する。(1時間) 学習問題:条約改正のために日本はどのように発展し、外国に認められるようになったのだろう。
②学習問題に対する答えを予想し、追究の視点を明確にして学習計画を立てる。(1時間) ア 法律が整ったり、政治のしくみが変わったりしたのではないか。 イ 強い軍隊ができて、戦争に勝ったのではないか。 ウ 産業が発展し、国が金持ちになったのではないか。 エ 技術力が伸び、新しい発見や発明をしたのではないか。 オ ねばり強く交渉したのではないか。
③自由民権運動と国会開設、大日本帝国憲法の発布を調べる。(1時間)
④日清・日露戦争を調べる。(1時間)
⑤軽工業の発達と八幡製鉄所の設立から産業の発展を調べる。(0.5時間)
⑥野口英世らの科学者の活躍を調べる。(0.5時間)
⑦陸奥宗光や小村寿太郎の条約改正に向けた努力について調べる。(1時間)
⑧近代化の一方で起きた朝鮮や中国の損害等を調べる。(1時間)
⑨まとめの作品づくりをする(2時間)
評価1:基本の学習における観点別学習状況の評価の総括を実施する。 ◆「十分満足できる状況(A)」「おおむね満足できる状況(B)」「努力を要する状況(C)」と判断する際に重視する評価の視点 A:歴史的事実を多面的にとらえて概念化でき、まとめの作品づくりが終わっている。(発展的な学習へ) B:歴史的事実を確実にとらえていて、まとめの作品づくりが終わっている。(発展的な学習、または、補充的な学習へ) 歴史的事実を多面的にとらえ、概念化できているが、まとめの作品づくりがまだ終わっていない。(補充的な学習へ) C:歴史的事実のとらえ方が不十分だが、まとめの作品づくりは終わっている。(補充的な学習へ) 歴史的事実のとらえ方が不十分で、まとめの作品づくりも終わっていない。(補充的な学習へ)

発展的な学習 (1時間)
概要:当時の発明家である豊田佐吉について調べ、日本の軽工業の発展や発明の実績と我が国の国際的地位の向上とを関連付けて考える。
学習問題:この時代における豊田佐吉の業績について調べよう。
①豊田佐吉の人物像を調べる。 ②豊田佐吉の業績と、我が国の国際的地位の向上とを関連付けて考える。

補充的な学習 (1時間)
概要:まとめの作品を、付せん紙に書かれた教師のアドバイスをもとに仕上げたり、修正したりする。
活動目標:基本の学習のA~オの追究の視点について不十分なものを調べよう。
①付せん紙に書かれていることをもとに引き続きまとめの作品づくりを行う。 ②終わった児童から順次、発展的な学習を行う。

評価2:発展的な学習と補充的な学習における観点別学習状況の評価を加味して、単元の評価の総括を実施する。

4 発展的な学習と補充的な学習における児童の反応と評価の実際

(1) 発展的な学習におけるA児の学び

<p>基本の学習</p> <p><9時間目></p> <p>◆まよめの作品づくり (時代パンフレット)</p> <p>○<u>歴史的事実をとらえる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大日本帝国憲法をつくり、アジアで初の憲法をもった国となった。 ・軽工業が発展し、生糸の輸出が世界一となった。 ・日清戦争と日露戦争に勝利し、欧米の植民地の人々を勇気づけた。 ・陸奥宗光や小村寿太郎は、条約改正のために力を尽くし、成功させた。 <p>○<u>時代の特色を考える</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・このころは、我が国が様々な面で発展し、近代化したことで、欧米から認められて条約改正をすることができた時代だ。 	<p>評価1</p> <p>■<u>作品分析</u> (知識・理解)</p> <p><—の部分></p> <ul style="list-style-type: none"> ○我が国の政治や産業が発達し、国力があがったことや条約改正のために力を尽くした人の働きをとらえている。 <p>(思考・判断)</p> <p><＝の部分></p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本の近代化によって条約改正できたことをとらえている。 <p>★<u>基本の学習の評価の総括</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史的事実を的確に把握し、近代化と条約改正とを結び付けて時代の特色をとらえることができていたため、発展的な学習に進むことが有効であると判断した。 	<p>発展的な学習</p> <p><1時間目></p> <p>◆<u>豊田佐吉の学習ワークシートへの記述</u></p> <p>○<u>歴史的事実をとらえる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・短時間でたくさん織れる織機をつくった。 ・動力織機をつくり、生産が20倍も上がり、できた織物も質が良かったので、多くの工場に使われた。 ・国内だけではなく外国でも広く使われた。 <p>○<u>時代の特色との関連を考える</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・この豊田佐吉が発明した動力織機のおかげで軽工業の生産高が上がったのではないか。 ・この大きな発明により日本も外国に認められたと思う。 	<p>評価2</p> <p>■<u>ワークシートの分析</u> (知識・理解)</p> <p><—の部分></p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊田佐吉が発明した動力織機の性能の良さや、外国でも認められ広く使われたことをとらえている。 <p>(思考・判断)</p> <p><＝の部分></p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本の近代化の進展に果たした豊田佐吉の役割について考えている。 <p>★<u>単元の評価の総括</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本の学習でとらえた時代の特色と発展的な学習で学んだ内容とを関連付けて考えることができた。 ○A児は、発展的な学習の後で、豊田佐吉の伝記を読み、近代化の進展に果たした人物に対する興味・関心も高めることができた。
--	--	---	---

発展的な学習での教師の働きかけ

- ・「発明」という面からこの時代に活躍した、豊田佐吉という人物を取り上げ、資料から考えたことをワークシートに記入するようにする。
- ・基本の学習でとらえた時代の特色と豊田佐吉の働きがどのようにかわるのかを考え、下線を引きながら資料を読むようにする。

(2) 補充的な学習におけるB児の学び

<p>基本の学習</p> <p><9時間目></p> <p>◆まよめの作品づくり (時代パンフレット)</p> <p>○<u>歴史的事実をとらえる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・すごい科学者たち →野口英世はやけどをしたけどすごい科学者となった。 →志賀潔は赤痢菌を発見した。 →北里柴三郎は破傷風の治療法を発見した。 <p>○<u>時代の特色を考える</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・未記入 	<p>評価1</p> <p>■<u>作品分析</u> (知識・理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○我が国の国際的地位の向上を科学の面からしかとらえることができていない。 <p>★<u>基本の学習の評価の総括</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史的事実のとらえ方も不十分で、まよめの作品も終わっていないため、「努力を要する状況」ととらえ、補充的な学習に進むことが有効であると判断した。 	<p>補充的な学習</p> <p><1時間目></p> <p>◆<u>まよめの作品づくり</u> (時代パンフレット)</p> <p>○<u>歴史的事実をとらえる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・野口英世はヘビの毒や黄熱病の研究で世界的に有名になった。 ・強い軍隊 →日清戦争と日露戦争で日本は外国に勝った。 <p>○<u>時代の特色を考える</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・強い軍隊をつくり、外国を倒したから、日本は強い国と思われ、外国に認められるようになった。 	<p>評価2</p> <p>■<u>作品分析</u> (知識・理解)</p> <p><—の部分></p> <ul style="list-style-type: none"> ○歴史的事実を科学の発展と国力の充実の2つの面からとらえている。 <p>(思考・判断)</p> <p><＝の部分></p> <ul style="list-style-type: none"> ○我が国の国際的地位の向上を関連付けて考えることと、まよめの作品を完成させることができていた。 <p>★<u>単元の評価の総括</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○我が国の国際的地位の向上をとらえることができたので、「おおむね満足できる状況」と判断した。
---	--	---	--

補充的な学習での教師の働きかけ

- ・作品(時代パンフレット)の内容として、書き加えてほしいところ、修正してほしいところに付せん紙をはる。
- <例>「野口英世がどのようなすごいことをしたのかを詳しく書くようにしましょう。」
- 「他に日本が外国からすごいと思われたようなことはなかったか、もう一度調べてみよう。」
- ・机間指導をしながら、どの資料のどこを読めばよいかを助言する。
- ・「日本は○○をして△△な国になったから、外国から◇◇と思われるようになった。」というような文型でまよめを書くように助言する。

V 成果と課題

1 個に応じた発展的な学習と補充的な学習の在り方について

「社会的事象の意味を主体的に考え、公正に判断する力」を育てるための、個に応じた発展的な学習と補充的な学習を構想する視点を、内容面に着目して設定したことにより、発展的な学習と補充的な学習の学習過程における位置付け方が明確になった。

このことにより、実践において、ねらいに即した学習活動を展開することができ、育てたい力の育成に迫ることができた。また、児童が、基本の学習から、発展的な学習か補充的な学習のどちらの学習に取り組んだ方が有効であるか判断する場合に、児童の「学習到達度の違い」だけではなく、「学習速度の違い」にも十分に着目して判断していくことが、教師の役割として重要であることが明らかになった。

補充的な学習については、社会的事象の意味を主体的に考える上で必要な「具体的なことから（事実）」を確実に理解することに重点を置いたが、より概念的な知識へと練り上げて社会的事象の意味をとらえさせるための学習の在り方や教師の手だてを検討していく必要がある。

2 個に応じた発展的な学習の指導モデルの開発について

個に応じた発展的な学習の指導モデルの開発を試みたことにより、学習内容の分析や授業づくりの方向性を明確にすることができ、学習のねらいや単元の特性に応じた学習計画を作成することができた。また、単元の途中で発展的な学習と補充的な学習へ複線化する際に、基本の学習における観点別学習状況の評価の総括において「重視する評価の視点」を明確にしたことにより、児童の学習状況を適切に評価することができた。

指導モデルの単元展開の方法については、例えば、下図のように、単元の「導入の場面」で、発展的な学習の追究の視点や方法も明らかにして追究の見通しをもたせ、随時、形成的な評価を行いながら単元の基礎・基本が十分に身に付いている児童から、発展的な学習に取り組んでいくような形態も考えられる。今後、このように柔軟で効果的な単元展開の方法についても研究開発していくことが重要である。

【基本の学習の「導入の場面」で、発展的な学習の見通しをもつ単元の展開例】

